

事業者名	防長交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(令和7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考
						計画	取組実績	
	1	柳井駅前 徳山駅前	柳井駅前	光駅	徳山駅前	【取組内容及び実施時期】 全国相互利用可能なICカードシステムの利用促進・周知徹底 【実施主体】 防長交通(株) 【効果目標】 上記の取組により、バス利用者の移動利便の向上を図り、収支率を1%増加させる。	【取組実績】 交通系ICカードシステムの利用促進を行い、移動利便の向上を図った。 【取組効果】 上記の取り組んだ結果、申請番号1は、経常収益が3,496千円減少した為、収支率が51.1%(-8.9%)に減少した。 申請番号2は、経常収益が1,237千円減少した為、収支率が47.8%(-7.0%)に減少した。 申請番号3は、経常収益が2,382千円減少した為、収支率が37.6%(-6.9%)に減少した。 申請番号4は、経常収益が3,355千円増加した為、収支率が50.7%(+6.6%)に増加した。 申請番号5は、経常収益が4,035千円増加した為、収支率が36.9%(+3.3%)に増加した。 申請番号6は、経常収益が4,874千円増加した為、収支率が89.9%(+3.9%)に増加した。 申請番号7は、経常収益が7,342千円増加した為、収支率が101.8%(+14.4%)に増加した。 申請番号8は、経常収益が2,953千円増加した為、収支率が88.1%(+2.9%)に増加した。 申請番号9は、経常収益が3,578千円増加した為、収支率が56.0%(+3.5%)に増加した。 申請番号10は、経常収益が7,168千円増加した為、収支率が42.9%(+6.3%)に増加した。 申請番号11は、経常収益が3,988千円増加した為、収支率が59.2%(+4.3%)に増加した。 申請番号12は、経常収益が1,125千円減少した為、収支率が48.3%(-0.3%)に減少した。 申請番号13は、経常収益が751千円増加したが、収支率が32.5%(-1.3%)に減少した。 申請番号14は、経常収益が3,263千円増加したが、収支率が80.8%(-0.7%)に減少した。 申請番号15は、経常収益が2,109千円増加した為、収支率が79.6%(+5.5%)に増加した。 申請番号16は、経常収益が579千円増加したが、収支率が69.2%(-3.0%)に減少した。 申請番号17は、経常収益が2,899千円増加した為、収支率が77.8%(+3.4%)に増加した。 申請番号18は、経常収益が3,622千円減少した為、収支率が62.1%(-5.6%)に減少した。 申請番号19は、経常収益が1,067千円増加したが、収支率が60.0%(-2.5%)に減少した。 申請番号20は、経常収益が4,720千円減少した為、収支率が38.6%(-8.3%)に減少した。 申請番号21は、経常収益が1,498千円増加したが、収支率が65.8%(-2.5%)に減少した。 申請番号22は、経常収益が2,735千円減少した為、収支率が35.1%(-10.4%)に減少した。	【今後の方向性】 より多くの方に交通系ICカードシステムをPRし、幅広く周知を図る。
	2	防府駅前 徳山駅前	防府駅前	新南陽駅	徳山駅前			
	3	柳井駅前 上閑	柳井駅前	イオン・平生	上閑			
	4	大畠駅 町立橋医院前	大畠駅	周防久賀	町立橋医院前			
	5	大畠駅 町立橋医院前	大畠駅	大島商船・大島庁舎・沖浦	町立橋医院前			
	6	徳山駅前 下松駅北口	徳山駅前	中央線	下松駅北口			
	7	徳山駅前 下松駅北口	徳山駅前	徳山高校前・周南団地	下松駅北口			
	8	徳山駅前 下松駅北口	徳山駅前	高尾団地・久米温泉口	下松駅北口			
	9	徳山駅前 ゆめプラザ熊毛	徳山駅前	バイパス・記念病院・夢ヶ丘団地	ゆめプラザ熊毛			
	10	徳山駅前 コアプラザかの	徳山駅前	新南陽駅・夢求の里	コアプラザかの			
	11	徳山駅前 袖木河内	徳山駅前	新南陽駅・ソーネー・湯野	袖木河内			
	12	堀 防府駅前	堀	中山	防府駅前			
	13	堀 防府駅前	堀	和宇	防府駅前			
	14	県庁前 新山口駅	県庁前	西京橋	新山口駅			
	15	スポーツの森前 新山口駅	スポーツの森前	西京橋	新山口駅			
	16	宮野温泉 新山口駅	宮野温泉	西京橋	新山口駅			
	17	道の駅仁保の郷 新山口駅	道の駅仁保の郷	宮野温泉・西京橋・県庁	新山口駅			
	18	県庁前 秋穂荘	県庁前	西京橋・新山口駅・長浜	秋穂荘			
	19	県庁前 新山口駅	県庁前	西京橋・リハビリ・権現堂橋・山手	新山口駅			
	20	新山口駅 東萩駅前	新山口駅	大田	東萩駅前			
	21	新山口駅 秋芳洞	新山口駅	十文字	秋芳洞			
	22	萩商工高校前 奈古駅前	萩商工高校前	萩センター・東萩駅・越ヶ浜	奈古駅前			

[記載要領]

1. この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
2. 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名 JRバス中国株式会社

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（令和7年度）

協議会等名	申請番号	運行系統名	起 点	主 な 経 由 地	終 点	地 域 公 共 交 通 確 保 維 持 事 業 の 生 产 性 を 向 上 さ せ る 取 組		備 考
						計 画	取 組 実 績	
山 口 県 生 活 交 通 確 保 維 持 改 善 協 議 会	5	D74	山口駅	昭和町・ゆめタウン 山口	防府駅	<p>【取組内容及び実施時期】 ICカード導入による利用促進、学期休み中の子ども50円バスの実施により、バスの利用促進を図る。</p> <p>【実施主体】 JRバス中国株式会社</p> <p>【効果目標】 各運行系統の収支率を1%以上改善する。()は令和5年度実績収支率【 】は令和6年度実績収支率 申請番号5 45.1%(43.8%)【26.5%】 申請番号6 43.8%(42.5%)【41.1%】 申請番号7 56.5%(54.8%)【47.8%】 申請番号8 25.8%(24.6%)【23.7%】 </p>	<p>【取組実績】 市が発行する時刻表に交通系ICカードシステム(ICOCA)利用方法を掲出し、リーフレットやチラシ配布等を実施し、学期休み中のこども50円バス実施の周知を行うことでバスの利用促進に繋がった。その他、イベント開催時の迂回情報を当社HPに掲載することで利便性の向上を図った。</p> <p>【取組効果】 各運行系統の収支率は以下の通り。 申請番号5 44.1% 申請番号6 39.9% 申請番号7 50.7% 申請番号8 27.5% </p>	<p>【今後の方向性】 引き続き関係行政など地域との連携を図り、バスの乗り方や運行情報提供を行い、公共交通への転嫁を促すことで、恒常的なバス利用に繋げる。</p>
	6	D77	防府駅	ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通	中尾口			
	7	D109	防府駅	ゆめタウン山口・県庁・湯田温泉通	山口大学			
	8	D127	山口駅	県庁・野田・明倫センター	東萩駅			

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名を持って記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績欄には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。